

平成29年度
東北大学大学院薬学研究科
医療薬学専攻博士課程（薬学履修課程）
社会人特別選抜学生募集要項

平成28年10月

【アドミッションポリシー】

本研究科では、健康の維持、増進や疾病の治療に貢献することを目標に、新規医薬品や薬理活性物質の創製、疾病の分子機構と医薬品の作用機構の解明、新規薬物療法の開発と医薬品の適正使用などに関する教育・研究を行なっています。

分子薬科学専攻及び生命薬科学専攻博士課程前期2年の課程では、物質科学や生命科学の高度な知識と技術を獲得したいという意欲を持つ人、博士課程後期3年の課程では、医薬品の創製や疾病の分子機構の解明などに強い関心を持ち、将来は創薬科学領域でリーダーとして社会に貢献できる人を求めています。推薦入学（博士課程前期2年の課程）では、学業成績が極めて優秀で、物質科学や生命科学に関する広範な知識、技術の修得に強い熱意を持ち、創薬科学領域のリーダーとなる人を求めています。

医療薬学専攻博士課程（薬学履修課程）では、医療薬学を中心とする薬学の知識や技術を修得し、将来は薬学の専門家として医療の一翼を担い得る人を求めています。腫瘍専門薬剤師養成コースは、腫瘍領域で先導的役割を担う腫瘍専門薬剤師を目指す人を対象にしています。スーパージェネラリスト・ファーマシスト養成コースは、チーム医療における薬剤の専門家として、高度な先進的薬学分析力をもとに主体的に薬物治療に参画する薬剤師を目指す人を対象にしています。

平成29年度東北大学大学院薬学研究科医療薬学専攻 博士課程（薬学履修課程）社会人特別選抜 学生募集要項

1. 募集専攻及び募集人員

募集専攻及び募集人員は、次のとおりとします。

専攻	専攻科目（分野）	募集人員
医療薬学	臨床薬学，がん化学療法薬学，生活習慣病治療薬学，病態分子薬学，医薬品評価学，医薬製造化学，分子設計化学，合成制御化学，反応制御化学，分子変換化学，医薬資源化学，物性解析化学，生物構造化学，分子動態解析学，分子イメージング薬学，薬理学，臨床分析化学，分子細胞生化学，薬物送達学，衛生化学，生体防御薬学，遺伝子制御薬学，生命機能解析学	} 若干名

備考

- (1) 志願者は，入学後の研究計画等について事前に当該分野（専攻科目）の教授に必ず問い合わせてください。分子イメージング薬学，医薬品評価学については，薬学部・薬学研究科教務係に問い合わせてください。
- (2) 研究内容等については，研究科概要を参照してください。
- (3) 博士課程（薬学履修課程）には，「医療薬学コース」，「腫瘍専門薬剤師養成コース」および「スーパージェネラリスト・ファーマシスト養成コース」の3コースがあります。各コースの詳細については志望分野教授に問い合わせてください。

2. 出願資格

原則として，薬剤師の資格を有し，病院薬剤部等において1年以上勤務し，入学後もその身分を継続する者で，(1)～(8)のいずれかに該当するものとします。

- (1) 大学の薬学，医学，歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者
- (2) 外国において，学校教育における18年の課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
- (4) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- (5) 修士課程、博士前期課程又は専門職学位課程を修了した者で、本大学院において、大学の薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者等、昭和30年4月8日文部省告示第39号により文部科学大臣の指定したもの
- (6) 大学の医学、歯学、薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者、外国において学校教育における16年の課程（薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。以下この号において同じ。）を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (7) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により他の大学院（薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）に入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29年3月末日までに24歳に達するもの

(注)

1. 出願資格（1）、（5）、（6）及び（8）における「大学」とは、我が国における6年制大学を指します。
2. 外国人留学生で本研究科医療薬学専攻博士課程（薬学履修課程）に入学を希望する者は、別に定める「外国人留学生等特別選抜学生募集要項」に基づき出願してください。
3. 出願資格（5）、（6）、（7）及び（8）による志願者は、入学資格審査を行うので、平成28年10月28日（金）までに薬学部・薬学研究科教務係に問い合わせてください。
4. 健康上その他の理由により受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、平成28年10月28日（金）までに薬学部・薬学研究科教務係に問い合わせてください。

3. 出願手続

(1) 出願書類等

入学を志願する者は、次の書類を提出してください。

書 類 等 名	備 考
入学願書	本研究科所定用紙
受験票及び写真票	本研究科所定用紙
薬剤師免許証の写し	厚生労働大臣発行のもの。
卒業証明書又は修了証明書	最終出身大学（研究科）長が作成したもの。 (本学薬学部・薬学研究科出身者は不要です)
志望分野教授の事前確認書	本研究科所定用紙
受験許可書（様式任意）	所属長作成のもの。
検定料	30,000 円（郵送の場合は郵便局で発行する普通為替証書とし、指定受取人欄は記入しない。） ただし、国費外国人留学生及び入学検定料の免除申請をする者は納付不要です。
住民票の写し	日本に在留する外国人のみとし、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記したもの。
返信用封筒	受験票送付用として、長形3号封筒（23.5×12cm）にあて先を明記し、郵便切手 362 円分を貼ったもの。（ただし、直接窓口で受領する者は不要）

(2) 出願方法

出願希望者は上記（1）の出願書類等を、薬学部・薬学研究科教務係に提出してください。

ア 窓口での受付期間は、平成28年11月2日（水）から11月10日（木）まで（土・日曜日を除く。）とし、受付時間は、9時から16時30分までとします。

イ 郵送の場合は、次のあて先に送付（書留郵便とし、封筒の表に「願書在中」と朱書）とし、平成28年11月10日（木）必着とします。

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学薬学部・薬学研究科教務係

4. 選考方法

- (1) 入学者の選考は、志願理由・研究計画の発表（5分）と面接試問（10分）の結果及び出願書類等を総合して行います。
- (2) 入学者選考における志願理由・研究計画の発表は、液晶プロジェクターを用いて行います。発表用ファイル（PowerPoint などで作成したもの）を保存したコンピューターを持参して発表を行ってください。
- (3) 志願理由・研究計画の発表と面接試問の実施日時は、次のとおりです。

月 日	時 間	試験科目等
12月7日（水）	13:30～	志願理由・研究計画の 発表と面接試問

- (4) 試験は、本研究科（仙台市青葉区荒巻字青葉6-3）において行います。

5. 合格者の発表

平成28年12月14日（水）17時に本研究科掲示板に発表する予定です。

なお、受験者には選考結果を通知します。

また、本研究科のウェブサイト（<http://www.pharm.tohoku.ac.jp>）に合格者の受験記号番号を掲載します。

6. 入学手続

- (1) 手続期間、書類等

合格通知に同封します。

- (2) 入学時の必要経費

入学料 282,000 円（予定額）[納入時期 上記（1）の入学手続期間]

授業料 半期分 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

注1．授業料は、授業料引落し口座から自動引落しをします。なお、上記の納付金額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

注2．入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、入学手続に関する書類でお知らせします。

7. 長期履修制度について

特別の事情（出産、育児、介護、職務等）のある場合、入学時に標準修業年限を超えた履修計画を提出し、修了する長期履修制度があります。希望者は、薬学部・薬学研究科教務係にお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等）及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。
- (3) 入試・教務関係の業務については、本学より業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たっては、その必要性に応じて、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき、個人情報の全部または一部を受託業者に提供します。

9. 注意事項

- (1) 本研究科の詳細については、ウェブサイト (<http://www.pharm.tohoku.ac.jp>) を参照してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。
また、出願書類受理後の記入事項変更及び納付した検定料返還には、応じることができません。
- (3) 入学試験に関する照会先は、次のとおりです。
薬学部・薬学研究科教務係（Tel 022-795-6803 Fax 022-795-6805）
〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
E-mail: kyoumu@mail.pharm.tohoku.ac.jp
- (4) 郵便で本募集要項及び出願用紙を請求する場合は、住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 420 円分（速達料金）を貼った返信用封筒（角形 2 号、約 33cm×約 24cm）を同封してください。
なお、本研究科のウェブサイト (<http://www.pharm.tohoku.ac.jp>) からダウンロードすることもできます。

(5) 仙台駅から入学試験場へのアクセス

仙台市地下鉄東西線

八木山動物公園行「青葉山駅」下車後、北1番出口から徒歩10分。

平成28年 10月

東北大学大学院薬学研究科

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

T e l 0 2 2 - 7 9 5 - 6 8 0 3

(薬学履修課程)

平成29年度大学院薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程(薬学履修課程) 入学試験	
受 験 票	
受験番号	※ 第 号
(ふりがな) 氏 名	
選 抜 区 分	般 ・ 社 ・ 外
専 攻 科 目	
⑩※印欄以外は本人が記入すること。 選抜区分はいずれかを○で囲むこと。 東北大学大学院薬学研究科	

(薬学履修課程)

平成29年度大学院薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程(薬学履修課程) 入学試験	
写 真 票	
受験番号	※ 第 号
(ふりがな) 氏 名	
写 真 貼 付 正面半身脱帽で出願前 3か月以内に撮影した 写真(4cm×3cm)を 貼付すること。	選 抜 区 分
	般 ・ 社 ・ 外
	専 攻 科 目

※切り離さないこと。

受験者心得

1. 受験者は、試験開始10分前に試験場に入り、試験監督員の指示を受けること。
2. 試験中は受験票を必ず机の上に置き、筆記用具のほかは持ち込まないこと。
3. 答案用紙には、受験番号を明記し、氏名は絶対に記入しないこと。
4. 答案は、指定された時間がきたら、机の上に裏返しに置くこと。

平成 年 月 日

事前確認書

東北大学大学院薬学研究科長 殿

分野名： _____

職・氏名： 教授 _____ (印)

下記の者の入学後の研究計画等について、事前に確認したことを報告します。

記

氏名 _____

東北大学大学院薬学研究科概要（平成28年度）

専攻	専攻科目（分野）	担当教員	研究内容
医 療 薬 学	臨床薬学	教授 佐藤 博 (022-795-5904) 准教授 高橋 信行	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症、子癩前症などにおける高血圧関連遺伝子の役割 ・CKD（慢性腎臓病）の治療と予後に関する臨床疫学的研究 ・腎障害の進行に関係する生理活性物質の基礎的・臨床的研究 ・腎炎・ネフローゼ症候群の発症と進展に関わる臨床病理的研究 ・次世代型薬剤師養成のための教育・実習
	がん化学療法薬学	教授 富岡 佳久 (022-795-6851) 講師 松本 洋太郎	<ul style="list-style-type: none"> ・がん化学療法至適化に関する研究 ・病態マーカーの臨床薬学的応用性に関する研究 ・薬物有害反応の早期検出のための代謝モニタリング法に関する研究 ・スーパージェネラリスト・ファーマシスト育成の教育プログラム開発 ・自然免疫受容体を標的とした抗体薬開発に関する研究
	生活習慣病治療薬学	教授 平澤 典保 (022-795-5915) 准教授 平塚 真弘 准教授 守屋 孝洋	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣・化学物質によるアレルギー誘発・増悪の薬理生化学的解析 ・新規抗アレルギー薬の探索 ・個別化薬物療法に関連したファーマコゲノミクス研究 ・薬物代謝酵素の遺伝子多型に由来する酵素タンパクの機能変化解析 ・海馬ニューロン新生に関わる調節機構の解明 ・受容体を介する体内時計調節機構の解明 ・医薬品開発に関するレギュラトリーサイエンス研究
	病態分子薬学	教授 眞野 成康 (022-717-7525) 准教授 山口 浩明	<ul style="list-style-type: none"> ・病態プロテオミクス・メタボロミクス研究 ・薬物および生体小分子に関する臨床化学的研究 ・薬物および代謝物の血中濃度測定法の開発 ・薬物動態制御因子の遺伝子多型解析と薬物療法適正化に関する研究
	医薬品評価学	客員教授 斎藤嘉朗 (03-3700-9528) 客員准教授 中村亮介 (国立医薬品食品衛生研究所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム・メタボローム解析による副作用発症関連因子(バイオマーカー)の探索研究 ・副作用の発症機序の解明研究 ・薬物アレルギー等の副作用に関する診断・発症予測系の開発研究 ・医薬品の安全性に係る行政施策反映を指向した評価研究
	医薬製造化学	教授 徳山 英利 (022-795-6887)	<ul style="list-style-type: none"> ・官能基選択的有機合成反応の開発 ・天然有機化合物の全合成研究 ・生体機能を制御する有機小分子の合成
	分子設計化学	教授 山口 雅彦 (022-795-6812) 准教授 有澤 美枝子	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率有機合成反応の開発 ・ラセン分子の合成と機能 ・巨大有機分子の合成と機能 ・刺激応答性キラル材料の開発
	合成制御化学	教授 岩淵 好治 (022-795-6846) 准教授 叶 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・高選択的有機合成手法の開発 ・生理活性化合物の立体制御合成 ・合成小分子（生体機能探素子）を用いた蛋白質機能の解析 ・小分子—蛋白質間相互作用の検出法の開発
	反応制御化学	教授 土井 隆行 (022-795-6865) 講師 塚本 裕一	<ul style="list-style-type: none"> ・新規生物活性化合物のデザインとライブラリー合成法の開発 ・生物活性ヘテロ環化合物の合成法の開発研究 ・遷移金属触媒を用いる新反応の開発研究 ・有機化学的手法を用いる生物活性発現機構の解明
	分子変換化学	教授 根東 義則 (022-795-6804) 講師 重野 真徳	<ul style="list-style-type: none"> ・有機超強塩基を用いる選択的な分子変換反応の開発 ・多元素触媒システムを用いるヘテロ環合成研究 ・多官能性芳香環の高選択的な修飾反応の開発 ・有機超電子供与剤を用いる分子変換反応の開発
	医薬資源化学	教授 大島 吉輝 ^{※2} (022-795-6822) 准教授 菊地 晴久	<ul style="list-style-type: none"> ・構造多様性の拡大を指向した化学変換を利用する天然化合物の探索 ・有用天然資源（微生物、植物）の薬理活性成分の探索 ・薬理活性天然物の医薬化学研究 ・エビジェネティックな遺伝子発現を利用する新規二次代謝物の創出
	物性解析化学	教授 安齋 順一 ^{※2} (022-795-6841)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖類に応答するナノ薄膜・ナノカプセルの開発 ・バイオセンサーの高機能化に関する研究 ・タンパク質ナノ薄膜のデザインと機能の開発
	生物構造化学	教授 中林 孝和 (022-795-6855)	<ul style="list-style-type: none"> ・光を用いた生体分子の構造・細胞計測を行う新たな方法論の開発 ・光と電場を用いた生体分子・細胞の機能制御 ・酵素および生理活性ペプチドの構造と活性制御機構 ・細胞間接着分子の構造と機能

※1 の教員は、平成29年3月退職予定です。※2 の教員は、平成30年3月退職予定です。

専攻	専攻科目 (分野)	担当教員	研究内容
医 療 薬 学	分子動態解析学	教授 古本 祥三 (022-795-7801) 講師 船木 善仁	<ul style="list-style-type: none"> ・短寿命放射性核種の生命研究への応用 ・ボジトロン標識薬物の分子設計理論と標識合成法の研究 ・がん・神経変性疾患のPET用画像診断薬剤の開発 ・ミトコンドリア標的プローブの創製と画像診断への応用 ・分子イメージングによる薬物動態解析および薬効薬理研究
	分子イメージング薬学	客員教授 張 明栄 (放射線医学総合研究所)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳防御システム機能の検知を目指した放射薬剤の創薬の開発 ・上記放射薬剤の評価、応用に関する基礎的研究 ・細胞内情報伝達機能を捉える放射薬剤の探索的研究 ・腫瘍特性 (悪性度、薬剤感受性) の評価に用いる放射薬剤の創薬の開発
	薬理学	教授 福永 浩司 (022-795-6836) 准教授 山國 徹 講師 森口 茂樹	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳動物の学習・記憶の分子機構 ・脳虚血に伴う神経細胞死の細胞内機序と脳保護薬の開発 ・精神疾患のモデル動物作成と神経化学的研究 ・脳の可塑性をターゲットにした創薬研究 ・循環器系疾患モデルを用いた心臓保護薬の開発 ・アルツハイマー病の新しい原因療法薬の開発およびその臨床研究 ・抗認知症天然薬物の探索およびその創薬への応用 ・中枢神経変性疾患およびメタボリックシンドロームの新規治療法の開発 ・漢方薬の薬効の薬学的証明
	臨床分析化学	教授 大江 知行 (022-795-6817)	<ul style="list-style-type: none"> ・病態関連蛋白質・ペプチドの微小変化解析システムの構築 ・蛋白質・ペプチド上の微小変化の病態への影響 ・化学修飾蛋白質の解析 ・ニーズをシーズとする実用的新規分析手法の開発 ・臨床分析化学の基礎的研究
	分子細胞生化学	教授 青木 淳賢 (022-795-6860)	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質メディエーター受容体・代謝酵素の遺伝子改変動物を用いた生体膜由来脂質メディエーターの生理・病態機能に関する研究 ・がん、自己免疫疾患、アレルギー、生活習慣病等の病態における脂質メディエーターの機能に関する研究 ・最先端質量分析技術を用いた脂質メタボローム解析 ・脂質メディエーターを標的とした創薬研究
	薬物送達学	教授 寺崎 哲也 (022-795-6831) 准教授 立川 正憲	<ul style="list-style-type: none"> ・脳関門の生理機能解明と薬物送達 ・標的蛋白質絶対定量を基盤としたファーマコプロテオミクス ・癌薬剤感受性機構解明とバイオマーカー診断及び薬物療法の開発 ・薬物の時空間分布制御機構及び外部環境応答性膜輸送ダイナミクスの解明と薬物送達精密制御法への応用 ・タンパク質・エクソソーム・細胞の体内動態機構と薬物送達法の開発
	衛生化学	教授 松沢 厚 (022-795-6827) 准教授 野口 拓也	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なストレスによって起こる細胞死や免疫応答のシグナル伝達機構の解明 ・キナーゼシグナルのエピキチン化による活性制御機構の解明 ・シグナル複合体による細胞死や炎症の制御機構の解明 ・薬物によるストレスや障害が原因で起こる疾患の発症機構の解明
	生体防御薬学	教授 永沼 章 ^{※1} (022-795-6870) 准教授 黄 基旭	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染物質および薬毒物の毒性に対する生体防御機構 ・生体防御に関わる遺伝子の検索とその機能解析 ・酸化ストレスに対する生体防御機構 ・がん細胞の制がん剤に対する耐性獲得機構
	遺伝子制御薬学	教授 稲田 利文 (022-795-6874)	<ul style="list-style-type: none"> ・真核細胞の mRNA 品質管理機構 ・RNA 段階での遺伝子発現制御機構 ・翻訳異常産物の新規分解機構 ・遺伝病治療のための創薬研究
	生命機能解析学	教授 倉田 祥一朗 (022-795-5916) 准教授 矢野 環	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫による病原体認識と排除 ・再生と発生における細胞運命決定と転換 ・免疫と再生におけるエピジェネティック制御 ・自然免疫応答制御による組織恒常性維持機構

※1の教員は、平成29年3月退職予定です。※2の教員は、平成30年3月退職予定です。

東日本大震災により被災した東北大学入学志願者等の 平成28年度における入学検定料の免除について

東日本大震災により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

東北大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、引き続き、平成28年度に実施する学部及び大学院入試等において、次のとおり入学検定料免除の特別措置を講じます。

1. 免除対象となる入学試験等

平成28年度に出願する本学の学部又は大学院の研究科若しくは教育部の入学試験（編入学、転入学、再入学含む）

（平成28年10月から平成29年4月までの入学）

2. 対象者

免除対象となる入学試験の志願者で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当する方

(1) 本人または学資負担者が、次の災害救助法適用地域において被災し、家屋等の全壊、大規模半壊、半壊、流失のり災証明が得られる方（一部損壊は該当しません。）

岩手県、宮城県、福島県の全市区町村

青森県、茨城県、栃木県、千葉県災害救助法適用市区町村

(2) 学資負担者が震災により死亡または行方不明の方

(3) 本人または学資負担者の居住地が福島第一原発事故による避難区域に指定された方

（避難区域対象：警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域）

3. 申請の方法

上記に該当する方は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

申請に当たり問い合わせる場合は、下記問合せ先に電話連絡してください。

4. 申請書類

(1) 「入学検定料免除申請書」（本学ウェブサイトからダウンロード）

(2) 「り災証明書等（写し可）」（上記2の（1）に該当する方）

(3) 「死亡を証明する書類（写し可）」（上記2の（2）に該当する方）

(4) 「被災証明書（写し可）」（上記2の（3）に該当する方）

5. 許可または不許可の通知について

(1) 許可者には、受験票の送付をもって、許可の通知に代えることとします。

(2) 不許可者には、別途連絡しますので、直ちに入学検定料を指定の方法で払い込んでください。納入等が確認された後、受験票を送付します。

入学検定料の免除に関する問合せ先

【学部入試】教育・学生支援部入試課（022-795-4800）

【大学院入試】

・文学研究科（795-6004）	・工学研究科（795-5820）
・教育学研究科（795-6105）	・農学研究科（717-8609）
・法学研究科（795-6175）	・国際文化研究科（795-7556）
・経済学研究科（795-6265）	・情報科学研究科（795-5814）
・理学研究科（795-6351）	・生命科学研究科（217-5706）
・医学系研究科（717-8010）	・環境科学研究科（795-4504）
・歯学研究科（717-8248）	・医工学研究科（795-4824）
・薬学研究科（795-6803）	・教育情報学教育部（795-6105）

【学部編入学】

・文学部（795-6004）	・理学部（795-6350）
・経済学部（795-6265）	・工学部（795-3188）

大学使用欄	
受験記号番号	

入学検定料免除申請書

平成 年 月 日

東北大学総長 殿

入学時期 平成 年 月入学

選抜の種類 _____

志願学部・研究科専攻名 (医学部志願者は学科・専攻名まで)

_____ 学部 学科 専攻
 _____ 研究科 専攻

志願者氏名 _____ 印

住所 〒 _____

連絡先 TEL _____

入学後の学資負担者氏名 _____ 印

住所 〒 _____ (続柄 _____)

連絡先 TEL _____

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、下記のとおり被災しましたので、り災証明書等を添付のうえ、入学検定料の免除を申請します。

記

被災状況 (該当箇所にチェックしてください。)

- 全壊 大規模半壊 半壊 流失
- 学資負担者死亡または行方不明
- 福島第一原発事故による避難区域 (警戒区域・計画的避難区域・緊急時避難準備区域)

*り災証明書の申請者氏名が学資負担者以外の場合は、志願者との関係を下記に記入してください。

り災証明書の申請者氏名： _____ (続柄) _____